



## 学校給食の「安全・安心」のために ～100人力の調理員さん達～



夏休みが終わりました。子どもたちのお昼ごはんを用意する日々から解放されて、ほっと一息ついているご家族の方もいらっしゃるかと思います。学校で毎日用意してくださる給食に大変ありがたさを感じます。



100人力のみなさん

「美味しくて、栄養バランスが取れていて安心して食べられる食事といえば？」その答えの一つは「学校給食」です。富士河口湖町と鳴沢村あわせて7つの給食室（または給食センター）があり、そこで小中学生と教職員、合わせて約2500食の給食が作られています。それを作っている栄養教諭、栄養士、調理員さん達の数からすると、一人あたりおよそ100食を毎回つくってくださっています。まさに「100人力」のみなさんです。

7月25日（火）、そのみなさんを対象に給食を安心して提供するための研修会が行われました。今回のテーマは「異物混入を防ぐポイント」でした。給食室のみなさんは、これまで毎日きめの細かい点検と確認を行っています。それでも異物混入のリスクはゼロではありません。研修会では、異物混入をなくすために「異物を調理場に持ち込まれない方法」と「調理器具が異物として混入しない方法」について、県の作成した解説動画で学びました。その後、それぞれの調理場から質問が出され、栄養教諭、栄養士から丁寧な回答がありました。

最後に、情報交換がありました。うまくいった事例だけでなく、異物混入につながりそうな事例、ヒヤリとした事例やハットした事例を話題に挙げての情報交換でした。未然に防ぐことのできた理由や、混入を繰り返さないために執った手段など、調理現場ならではの経験を共有し、今後も「ヒヤリ・ハット」を未然に防いでいこうと団結されていました。

最後に、情報交換がありました。うまくいった事例だけでなく、異物混入につながりそうな事例、ヒヤリとした事例やハットした事例を話題に挙げての情報交換でした。未然に防ぐことのできた理由や、混入を繰り返さないために執った手段など、調理現場ならではの経験を共有し、今後も「ヒヤリ・ハット」を未然に防いでいこうと団結されていました。

それぞれの給食室で、念には念を入れたチェックが毎日行われていることは、外にいる多くの人には案外知られていないかもしれません。高い温度と湿度の中、栄養教諭、栄養士、調理員さん達の努力とご苦労により、学校給食の「おいしさ・栄養バランス・安心・安全」が保たれています。今回、給食室のみなさんの非常にきめの細かい心配りを目の当たりにしたことで、「いただきます」や「ごちそうさま」というあいさつは、私たちが生きるためにいただく動植物のいのちに対してだけでなく、つくってくださっているみなさんに向けた言葉でもあることを改めて感じました。給食室のみなさんには、今後もさらに2500人分からの心を込めた「いただきます」や「おいしかったです」「ごちそうさま」が届くといいなと思います。



情報交換の様子



# 富士河口湖町のすばらしさを学ぶ

## 郷土学習会

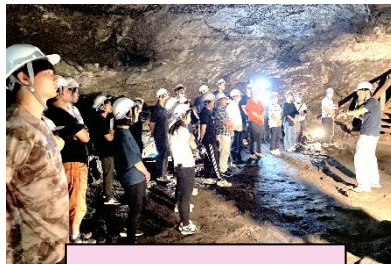


子どもたちの充実した学校生活のため、夏休みの期間に先生方は様々な分野でたくさんの研修を受けています。その中の1つとして、7月26日（水）に郷土学習会が行われました。この学習会は、新転入・新採用教職員及び希望職員を対象に「町内の施設の学習と共に、自然環境について理解を深める」ことを目的に行われました。今年度は27名の先生方が参加しました。

見学場所は、「河口浅間神社」「富士御室浅間神社」「西湖コウモリ穴・西湖ネイチャーセンター」「河口湖フィールドセンター」「西湖いやしの里」でした。盛りだくさんの内容でしたが、どの場所でも専門的知識をもった講師の皆様が説明をしてくださったので大変有意義な学習会となりました。今回学んだことを、これからの指導に大いに役立てていただきたいと思います。



富士御室浅間神社



西湖コウモリ穴



河口湖フィールドセンター

## 正しく知って 正しく備える <sup>ジュニア</sup> Jr 防災士講座



8月2日（水）、Jr 防災士講座が開かれました。今回は、40名の子ども達を対象に実施しました。

講座では、はじめに地域防災課の小佐野さんより災害についてのお話がありました。その後、グループに分かれて「溶岩流実験」「起震車体験」「水消火器体験」「備蓄倉庫見学」を行いました。お昼には、備蓄食料を試食しました。メニュー

は、お湯を入れると簡単に作れるわかめごはんと醤油ラーメンでした。

午後はグループに分かれて防災マップ作りをしました。自宅付近の避難場所や消火栓、ブロック塀などの危険箇所等を地図にマークしました。災害が起きた時に必要となるもの、危険な場所を友達と交流しながら確認することができました。

富士山の麓で暮らしている私たちは、富士山からたくさんの恩恵を受けています。その反面、富士山噴火という災害の可能性もあります。その災害を怖がらなすぎたり怖がり過ぎたりするのではなく、状況を正しく把握して正しく判断・行動することが大切です。今回のJr 防災士講座では、自分たちが住んでいる所にどのような危険があり、いざという時にはどのような行動をとればよいかを考える機会になりました。今後も町にJr 防災士が増えていってくれることを期待します。



備蓄倉庫見学



溶岩流実験